

第29回公安委員会定例会開催状況

1 開催日時

令和6年11月14日（木）13時30分～16時55分

2 決裁事項

(1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し事案及び欠格期間等の処分について報告を受け、決裁した。

(2) 苦情の受理

警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。

(3) 審査請求の裁決

警察本部から、審査請求の裁決について報告を受け、決裁した。

(4) 非常施設として運用している留置施設の閉場

警察本部から、非常施設として運用している留置施設の閉場について報告を受け、決裁した。

(5) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

(6) 特定抗争指定暴力団等の指定期限の延長

警察本部から、特定抗争指定暴力団等の指定期限の延長について報告を受け、決裁した。

3 報告事項

(1) 令和7年岡山県警察運営重点（案）

警察本部から、

- 基本目標及びサブタイトルは令和6年から変更はないが、運営重点の項目は部門横断的に取り組む2項目と各部門が中心となって取り組む6項目の計8項目とする。
- 運営重点の項目については、匿名・流動型犯罪グループによる犯罪が治安対策上の重大な脅威となっていることなど、昨今の治安情勢を踏まえ、項目名を変更した。
- 今後のスケジュールであるが、本日、公安委員会から頂いた意見を踏まえて必要な修正を行い、11月28日の定例会において、個別報告を行った後に確定させるものである。

旨の報告を受けた。

委員が、

「これまで警察が蓄積してきた情報を犯罪捜査に活用するなど、組織的にデジタル技術を活用していくことも今後の課題設定として必要であると思う。

現在の状況を踏まえた運営重点が設定されていると思う。犯罪の未然防止を図るため、街頭活動の強化は重要であると思う。」

旨を発言した。

(2) 歳末特別警戒出発式及び合同パトロールの実施

警察本部から、

○ 県警察では、歳末における犯罪及び交通事故の防止に向け、県、県教育委員会、県防犯協会及び防犯・交通ボランティア等と協働で歳末特別警戒出発式及び広報啓発活動・合同パトロールを実施する。

○ 11月29日(金)、イオンモール岡山において出発式及び広報啓発活動を実施するほか、岡山駅東口周辺地区において合同パトロールを実施する。

旨の報告を受けた。

委員が、

「報道発表により広く情報発信するなどして、犯罪や交通事故の防止に向けた気運が県下全体で高まるよう配慮していただきたい。

安全・安心の岡山を実現するためには、関係機関やボランティア団体との連携が必要不可欠であり、本行事は大切な取組であると思う。」

旨を発言した。

(3) 犯罪抑止総合対策推進状況（10月）

警察本部から、

○ 令和6年10月末の刑法犯認知件数は7,996件と、前年同期比222件(2.9%)増加した。

○ 「刑法犯の割合」は、窃盗犯が5,651件と、全体の約7割を占めており、窃盗犯のうち認知件数の多い順は、自転車盗、万引き、車上ねらい、空き巣、オートバイ盗となる。県警察では、犯罪総合抑止、県民の体感治安の向上を図ることを目的として11月1日から本部生活安全部員による街頭犯罪抑止活動を展開しているほか、首都圏で発生が認められる住宅対象の強盗事案を受け、チラシを活用して自宅の防犯対策の重要性を呼び掛けている。

○ 「特殊詐欺認知状況」は126件と、前年同期比22件減少、被害額は約3億5,180万円と、前年同期比約1億1,860万円減少した。10月中、キャッシュカード詐欺盗や預貯金詐欺を認知したことから、ももくん・ももかちゃん安心メールを活用し、注意喚起を実施している。

○ 「SNS型投資・ロマンス詐欺認知状況」は118件と、前年同期比95件増加、被害額は約14億8,620万円と、前年同期比約13億2,580万円増加した。SNS型投資・ロマンス詐欺については、引き続き、SNS等の各種広報媒体や各種広報の機会を最大限に活用して手口の周知を図っていく。

旨の報告を受けた。

委員が、

「SNS型投資・ロマンス詐欺は社会的な課題であるが、未だ認知が進んでいないた

め、手口等が県民に周知されるよう継続して広報を実施していただきたい。

万引きなどの犯罪について、軽い気持ちであっても絶対にやってはいけないということを子供の頃から教えることで、大人になっても犯罪に手を染める前に踏みとどまることができると思う。」

旨を発言した。

(4) ミニ広報紙コンクールの開催

警察本部から、

○ 管内で発生した事件、事故や防犯・交通安全情報等の地域に身近な話題を伝えるなど、地域住民の重要な情報源であり、管内の世帯や町内会、公共施設等に配布をしているミニ広報紙について、作成する地域警察官の作成技能の向上と士気の高揚を図るため、優秀作品を集めた審査を毎年行っている。

○ 審査作品は、各警察署から選出されたミニ広報紙22点となる。

旨の報告を受けた。

委員が、

「ミニ広報紙は回覧板や自治会などで接する機会が多く、地区ごとに工夫を凝らした内容で作成されており、非常に有効な広報紙であると思う。

警察本部内で勤務する全職員に審査をしてもらうことは意識の向上にもつながるため、良い取組であると思う。」

旨を発言した。

(5) 重要事件認知・検挙状況（10月）

警察本部から、

○ 10月中は、重要事件を14件認知し、不同意わいせつ事件や不同意性交等致傷事件等16件を検挙した。

○ 10月末の暫定値では、重要事件の認知件数は125件と前年同期比6件減少し、検挙件数は130件と前年同期比1件増加した。

○ 検挙率は104.0%で推移しており、暫定値では全国1位である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「スマートフォンが普及し、非接触型の犯罪が増えている中、新たに生まれた犯罪の手口や危険性の周知に取り組むことは重要であると思う。

被害を言えずに苦しんでいる女性は多くいると思うが、警察が犯人を必ず検挙することは、被害を届け出た女性にとって救いになっていると思う。」

旨を発言した。

(6) 施設設備損傷に係る和解及び損害賠償額の決定

警察本部から、施設設備損傷に係る和解及び損害賠償額の決定について報告を受けた。

(7) ストーカー規制法に基づく禁止命令等

警察本部から、ストーカー規制法に基づく禁止命令等について報告を受けた。

- (8) 令和6年度暴力追放功労者表彰等の受賞者の決定
警察本部から、令和6年度暴力追放功労者表彰等の受賞者の決定について報告を受けた。
- (9) 著名人を活用した広報素材の制作
警察本部から、著名人を活用した広報素材の制作について報告を受けた。
- (10) 3機関合同水難救助訓練の実施
警察本部から、3機関合同水難救助訓練の実施について報告を受けた。
- (11) 能登半島豪雨災害に伴う機動警察通信隊の派遣結果
中国四国管区警察局岡山県情報通信部から、能登半島豪雨災害に伴う機動警察通信隊の派遣結果について報告を受けた。

4 次回公安委員会

令和6年11月28日（木）13時30分から開催予定